産業カウンセラー養成講座　面接の体験学習　セルフチェック票

2019.3改訂

実施日　　　年　　 月　　　日（　　　）　　　　　　　　　受講者氏名

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| チェック項目 | | 項目内容 | 状況 | 良かった点・改善点 |
| 基本的態度 | 自己一致  （純粋性） | ＣＯは、ＣＬとの間で自分が体験し感じていることを素直に意識し、ありのままの自分でいられる。必要なときには表現できる |  |  |
| 無条件の肯定的配慮（尊重、受容、温かさ） | ＣＬの存在そのもの、そしてＣＬの体験や表現に対して条件付きではない温かな関心を示し、受けとめることができる |  |  |
| 共感的理解 | ＣＬの視点から、ＣＬが表現している感情、考え、意思などを、あたかもその人であるかのように感じ取り、理解できる |  |  |
| 応答技法 | 内容の伝え返し | ＣＬが語っている内容を理解し、キーワードや言い回しを含めて伝え返しができる |  |  |
| 感情の反射および明確化 | ＣＬが語る感情や言葉では十分に表現されない感情を受けとめて共感的に理解し、伝え返すことができる |  |  |
| 要約 | ＣＬの一連の発言の要点をとらえ、適宜、簡潔にまとめて伝え返すことができる |  |  |
| 質問 | ＣＬの発言をＣＯが正確に理解するため、また、ＣＬの状況に応じてＣＬの気付きにつながるよう問いかけをすることができる |  |  |
| 技法的側面 | 自己理解 | 面接の体験学習における自分のかかわりや応答について、率直にふりかえり、自分のありように気づき、表現することができる |  |  |
| かかわり方 | ＣＬが安心して語れる場の設定、ＣＬへの積極的な関心や理解を示し、適切な関係づくりができる |  |  |
| プロセス理解 | カウンセリング・プロセスを理解し、体験学習においてプロセス段階（リレーション、問題把握、目標設定等）に応じた応答ができる |  |  |
| 言語表現 | 言語および非言語による応答が、ＣＬに伝わるよう、わかりやすく簡潔にできる |  |  |

　　　到達状況 ○：ほぼ到達 △：課題があり、努力を要する

　　実技指導者確認